
炭素市場エクスプレス メールマガジン 第6号 (2018年3月6日発行)

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

◇トピックス◇

■□ 新着コラム！

□ ベトナム：北部・中部・南部地域の配電網におけるアモルファス高効率変圧器の導入 [裕幸計装株式会社]

■□ 事務局からのお知らせ

□ 第1回日本・フィリピン合同委員会が開催されました

■□ イベント・セミナー情報

□ COP23 環境省・OECC 主催サイドイベント「NDCの達成に向けたJCMの貢献」サマリーを公開しました

□ COP23 UNFCCC 公式サイドイベント「サステイナブルな太平洋諸島へ」の開催報告

□ アジア太平洋カーボン・フォーラム（タイ・バンコク） ブース出展・サイドイベント開催報告

「コラム」に、新しい記事をアップしました！

【コラム第43弾！】

◆ベトナム：北部・中部・南部地域の配電網におけるアモルファス高効率変圧器の導入 [裕幸計装株式会社] ◆

2020年の春までに、ベトナム北部・中部・南部の送配電網に約1万2,000台の高効率変圧器が導入される予定です。ベトナムでは10年以上稼働した古い変圧器は故障しやすいのが課題でしたが、このたび導入を進めているアモルファス高効率変圧器の寿命は25～30年と長命です。

ベトナム中部カインホア省のテレビ局で特集が組まれ、...

本投稿の写真など、続きは Facebook ページをご覧ください。（海外環境協力センター Facebook ページ）

⇒ <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

この投稿への「いいね！」お待ちしております。

「シェア」でさらに“友達”にもご紹介くださいませ。

こちらでもご覧いただけます。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/columns/>

◆2018年2月9日、第1回日本・フィリピン合同委員会が開催されました◆

フィリピンにおける最近の動向はこちらをご覧ください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/initiatives/philippines.html>

◆COP23 環境省・OECC 主催サイドイベント「NDCの達成に向けたJCMの貢献」サマリーを公開しました◆

環境省、一般社団法人海外環境協力センター（OECC）は、11月6日～17日にドイツ・ボンで開催された国連気候変動枠組条約第23回締約国会議（COP23）のジャパンパビリオンにおけるサイドイベントとして、「国が決定する貢献（NDC）の達成に向けた二国間クレジット制度（JCM）の貢献（The JCM contributions towards achievement of the NDCs）」を開催しました。当日は各国の政府関係者や JCM パートナー国の JCM 事務局ほか専門家の積極的な参加により、パネリストと活発な質疑応答がなされました。

・ファシリテーター：竹本 和彦（OECC 理事長）

□プレゼンター：レー・ヴァン・フー（ダナン配電公社 プロジェクト・マネージャー）

・パネリスト：アナンド・ツォグ（モンゴル環境観光省 気候変動・国際協力課 気候変動係員）、グエン・ヴァン・ヒューイ（ベトナム天然資源環境省 気候変動局 科学技術・国際協力部ディレクター）、小塚 一久（日本国環境省 市場メカニズム室 国際企画官）

<キーメッセージ>

・JCM を活用した成功事例を積み重ねることで、パートナー国における排出削減の促進に貢

献可能な適切な技術を特定でき、NDC の達成にも貢献できる。

□JCM 資金支援事業を足掛かりとして、省エネ技術等の自立的な普及が実現している。

□JCM パートナー国政府は、プロジェクト実施に係るアイデアや経験を現地の民間セクターと共有する場をアレンジすることにより、積極的に更なるプロジェクトの実施を後押ししている。

□政府による政策は市場にシグナルを送る意味で重要である。

写真、発表及び議論の内容（日本語サマリー）はこちらをご覧ください。

⇒ https://www.carbon-markets.go.jp/jp_info/jp_info_event/y_2017/20171109-2/

◆COP23 UNFCCC 公式サイドイベント「サステイナブルな太平洋諸島へ」の開催報告◆

COP23 は、フィジーが議長国を務めるため、島嶼国における気候変動対策を如何に進めていくかが注目されました。OECC は、パラオ大統領府並びに Okeanos Foundation とともに、伝統文化と先進的技術を用いてサステイナブルな太平洋諸島の未来を考えるためのサイドイベント「サステイナブルな太平洋諸島へ (Sailing the Past into the Future: Building upon Traditional Knowledge, Pacific Islands Take the Lead in Sustainable Sea Transportation)」を UNFCCC 公式サイドイベントとして開催しました。

本サイドイベントへは、パラオ大統領、マーシャル諸島大統領、ミクロネシア連邦副大統領ほかプロジェクトを推進する事業者が登壇しました。太平洋諸島のハイレベル登壇者より、海上輸送手段をディーゼルから再生可能エネルギーのカヌーに代替するプロジェクトについて、緑の気候基金（GCF）へ応募する意気込みが披露されました。また、NDC で掲げられた緩和目標の達成に貢献する事例として、島嶼国における JCM プロジェクトを通じて再生可能エネルギーが着実に普及していることが報告されました。両プロジェクトともに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に寄与するものであり、島嶼国に特有の気候へ適応できる点が期待されています。

- ・モデレーター：太平洋地域環境計画事務局（SPREP）事務局長 Mr. Kosi Latu
- ・登壇者：パラオ大統領 H. E. Tommy E. Remengesau、マーシャル諸島大統領 H. E. Hilda Heine、ミクロネシア連邦副大統領 H. E. Yosiwo P. George、Pacific Ocean Commissioner Ms. Dame Meg Taylor、OECC 主任研究員 松田 英美子、Okeanos Foundation 取締役 Mr. Dieter Paulmann、フィジー人航海者（Okeanos 船長）Ms. Iva Nancy Vanikura

写真、発表及び UNFCCC Climate Change Studio による動画（英語）はこちらをご覧ください。

⇒ https://www.carbon-markets.go.jp/jp_info/jp_info_event/y_2017/20171114-2/

本イベントで紹介されたパラオにおける JCM プロジェクトの詳細は、本メルマガバックナンバー（第 5 号）も併せてご覧ください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2018/>

◆アジア太平洋カーボン・フォーラム（タイ・バンコク） ブース出展・サイドイベント
開催報告◆

2017 年 12 月 13 日～15 日、タイ・バンコクにおいて、アジア太平洋カーボン・フォーラム 2017（APCF2017）（主催：アジア開発銀行、国際排出量取引協会、国連気候変動枠組条約事務局、公益財団法人地球環境戦略研究機関）が、アジア太平洋クライメート・ウィーク（APCW2017）の一環として開催されました。

OECC は APCF2017 会場内に展示ブースを出展し、JCM に係る各種資料を展示・配布するとともに来場者に対する情報提供を行いました。JCM パートナー国に拠点をおく国際機関や研究機関、政府関係者ほか、パリ協定第 6 条 2 項に規定される協力的アプローチの代表的事例として JCM に注目する韓国、シンガポール、米国、インドの政府系機関やオフセットプロバイダー、さまざまな国でプロジェクト形成中のプロジェクト開発者など約 20 名と面談を実施しました。

来場者との意見交換の概要はこちらをご覧ください。

⇒ https://www.carbon-markets.go.jp/jp_info/jp_info_event/y_2017/20171214-2/

また、OECC は APCF サイドイベントとして、「JCM を通じた技術移転（Innovation, Deployment, and Transfer of Low-Carbon Technology Through the JCM）」を開催しました。

本サイドイベントでは、OECC によるベトナム案件の東南アジアへの自立的水平展開の事例を紹介したのち、JCM パートナー国であるタイの JCM 窓口であるタイ温室効果ガス管理機構（TGO）の担当者、公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）にて JCM プロジェクトの MRV（測定・報告・検証）支援等を行う担当者をパネリストに迎え、JCM 実施に係る進捗や期待について議論するとともに、TGO 及び IGES、OECC がどのようにプロジェクト形成に携わっ

ているか、また、プロジェクト実施に係る手続きや期間について具体的な質疑応答がなされました。

・ファシリテーター：加藤 真（OECC 主席研究員）

・プレゼンター：小柳 百合子（OECC 研究員）

□パネリスト：Paweena Panichayapichet（TGO 検証モニタリングオフィス マネージャー）、Aryanie Amellina（IGES アナリスト）、小柳 百合子（OECC 研究員）

写真、発表及び傍聴者との討議内容（日本語サマリー）はこちらをご覧ください。

⇒ https://www.carbon-markets.go.jp/jp_info/jp_info_event/y_2017/20171214-2/

■□発行・編集□■

炭素市場エクスプレス事務局

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル 3 階

URL: <https://www.carbon-markets.go.jp/>

お問い合わせフォーム: <https://www.carbon-markets.go.jp/contact/>

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。